



2014-2015 年度

国際ロータリー会長 / ゲイリー C. K. ホアン
2690地区ガバナー / 松本 祐二

会長 / 内田 節夫
幹事 / 福田磨寿穂
副会長 / 河原 治子
会計 / 小村 益造

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
5月21日	公益財団法人 ホシザキグリーン財団 研究員 (植物分野) 三浦 憲人様	島根県内と 出雲で見つけた植物
5月28日	(株)酒持田本店	夜間例会 18:30~
6月4日	平田高等学校 校長 井村 孝之 様	

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前々回補正出席率
44	29	15 (5)	74.35%	— %

■欠席者

飯塚詔 / 飯塚大 / 高砂 / 原泰 / 大島治 / 園山 / 石原輝 / 石原俊
三好 / 大谷 (山根 / 牧野 / 木村 / 山口 / 田中久)

■来訪者

なし

■メイクアップ

5/17 内田・福田 (江津)

■次回例会受付当番

(6月4日) 土江光二 / 飯塚詔夫 / 石原輝男
(6月11日) 板垣文江 / 伊藤義徳

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央	6/22	6/29(休)	松江南
火	出雲	6/23	6/30(休)	松江しんじ湖 6/23 6/30
水	大社	6/3	6/17 6/24(休)	松江 6/17 6/24
木				松江東 6/18 6/25
金	出雲南	5/22	6/19 6/26	

■会長挨拶

ロータリー年度も終盤に向かい歩みを続けています。もう6月がそこまで来ています。

さて、今年度の10の重点目標は達成が厳しい状況にあります。その中で、ロータリーデーの実施と End Polio Now、未来夢計画の推進、青少年活動等は何とか実現しましたが、最も求められている最重点項目の会員増強3%純増や重点目標でロータリー財団への取り組み・新年次寄付150米ドル/1人・ポールハリスフェロー、そして出席率の向上～年間平均目標90%等、難題が残されていますが、年度内諦めずに1つでも達成できますよう、会員各位のお力をいただけますよう よろしくお祈りします。

報告します。先日17日(日)江津クラブ50周年記念式典に幹事と出席しました。浜田クラブをスポンサークラブとして、1965年6月30日、26名の会員で発足し、現在は35名の会員でクラブ運営されています。

■幹事報告

1. 5/17(日) 江津 RC 創立 50 周年記念式典出席(会長・幹事)に対し 江津 RC 会長 和原勝弘様、創立 50 周年実行委員長 桑原祥瑞様よりお礼状を頂きました。

2. 例会変更

○ 大社 RC 6/3(水) 6:30~ 早朝坐禅例会 会場 神光寺
6/17(水) 18:30~ 最終夜間例会 会場 ゆたか亭
ビクター受付 11:30~12:30 事務局

3. 休 会

○ 大社 RC 6/24(水) 定款により
ビクター受付 なし

■委員会報告

クラブ広報委員会 : ロータリーの友 5月号の紹介

■スマイル

内田 (三浦様、本日はようこそ、スピーチ楽しみにしています。)
小汀 (三浦憲人様、本日はようこそおいで下さいました。お話楽しみにしています。どうぞよろしくお願い致します。)
來間 (イタリア ミラノ万博に縁あって出展しました。食をテーマにした万博で、日本館のイベントブースにて日本の「生姜糖」というかたちで PR しました。しょうがはイタリア語で“ZenZero”です。)

■スピーチ・例会行事

「島根県内と出雲で見つけた植物」

公益財団法人 ホシザキグリーン財団
研究員(植物分野) 三浦憲人様

2012年7月からホシザキグリーン財団 ホシザキ野生生物研究所で植物を専門に活動しております。

ホシザキグリーン財団は今年25周年を迎えます。主な活動の場は、宍道湖グリーンパークと県から委託を受けている宍道湖自然館ゴビウスです。「自然と遊び、自然に学ぶ」の元、野生動植物の保護繁殖に関する事業を実施し、人と自然の調和した自然環境を保全することを目的としています。調査研究や普及啓発の内、私は主に調査研究を担当しており、絶滅危惧植物を含む島根県内の生物調査を研究テーマとしています。

絶滅の危機にある生物を絶滅危惧種と呼びますが、人間の経済活動が生物に与える影響は無視できなくなっています。

島根県内の絶滅危惧植物として、初夏に見られるサンカヨウ・ミツガシラ・オオヤマレンゲ、春に見られるキビシロタンポポ・ミスミソウ・サンインシロカネソウ、秋に見られるチョウジギク・サワギキョウ・カリガネソウなどがあります。

島根県では、東アジアに続く暖温帯系の植物が海岸域に分布する一方、北方の冷温帯系の植物が中国山地および海岸域の一部に分布しており、温暖・冷温の境界があります。地球温暖化が進むと植物の生息域は南北方向もしくは垂直方向に移動するしかありませんが、植物の移動速度はとても遅いため絶滅の危険が増大してしまいます。

出雲市内でも初夏に見られるイワギリソウ・チョウジソウ、春に見られるニリンソウ・イズモコバイモ・ユキワリイチゲ、夏に見られるヤマジノ・キキョウ・ハンゲショウ、秋に見られるツメレンゲ・サンイントラノオなどが絶滅危惧種です。

日本国内はほとんどの場所で人の手がいってあり、植物が絶滅する原因のほとんどは人の手によるものです。園芸目的での採取や工事による生育地の破壊とともに、今一番問題となっているのは農地の管理方法の変化や放棄による生育地の荒廃です。

今後も島根県内の植物を調査・収集し、データを蓄積していきます。

